

日本ファシリテーション協会東北スクエア企画～公開イベント～

話せないを話すということ

— 違いを超えた向こう側にある未来をつくる —

私たち日本人は、相手の立場を考えて話をするという、とても奥ゆかしい心があります。たとえ正論だとしても、その場では決して口に出せない言葉もあることは誰しもが経験していることでしょう。あるいはどうしても自己開示ができずに、かえって苦しい思いをすることもあります。けれど・・・お互いに本音を言える関係があればこそ、やってくる未来もあります。

「本音と言えない状況は何がそうさせるのか」

「本音と言えたその瞬間に何が起きたのか」

今回はホール・システム・アプローチ(裏面参照)の手法のうち「ワールド・カフェ」と「OST(オープン・スペース・テクノロジー)」を体験し、参加者全員の人生経験を通して、ファシリテーターとして必要な「場の空気のつくり方」を一緒に考えます。

◆ 日時＝平成25年12月14日(土)

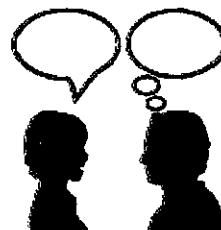
10:00～17:30 (9:30受付開始)

◆ 場所＝東京エレクトロンホール(宮城県民会館)601大会議室

地下鉄勾当台公園駅下車徒歩10分

◆ 定員＝80人

◆ 参加費＝会員1,000円、非会員1,500円



■主催：特定非営利活動法人日本ファシリテーション協会 sendai-member@faj.or.jp

■メインファシリテーター：山口 覚さん(まちづくりファシリテーター)

NPO 法人地域交流センター理事/津屋崎ブランチ代表/九州大学・福岡大学非常勤講師

■申し込みは、ホームページから⇒

https://www.faj.or.jp/modules/contents/index.php?content_id=15

:~☆~:~☆~*:~☆~*:~☆~*:~☆~*:~☆~*:~☆~*:~☆~*:~☆~*:~☆~*:~☆~*

■今回のイベント企画が生まれた背景

今年の東北スクエア 7 月例会で実施した「音楽」をテーマにしたワークの中で、グループメンバが思いのこもった曲を持参し、それを紹介して、対話をしながら、最終的にその中からグループで一曲選択する(合意形成)というワークを行いました。

1つのグループが、震災を歌った曲を選択しました。「国道 45 号線【濱守栄子】」という歌です。曲を選択後、次に各グループに対して曲のプレゼンテーションを行うというワークを行いました。

ここでこのチームがプレゼンに選んだメンバは、震災を体験した人、震災を体験していない人の 2 名を選んでプレゼンを行ったのです。

ここで凄く感動的なことが起こりました。2 人はたどたどしいながらも、体験者はその当時の気持ちを、非体験者は触れてはいけないとずっと思っていた、話してもいいか分からない、どう対処したらいいか分からないなど素直に語り出しました。

素直に気持ちを出し合うと、言ってもいいんだよと、触れてもいいんだよと。そこから体験、非体験の違いの壁を乗り越えて、みんなで話し合えるようになっていったら、新しい未来が生まれるのでは？という結びでした。合わせて音楽の相乗効果もあって、周りには涙ぐむ人もいました。

この光景を見たときに、「震災に限らずに」体験者・非体験者の違いの壁を超えた対話から、何か新しい関係性や何か新しい未来を生み出すことができるのではないかと感じたのが今回のイベント発足のきっかけです。

■ホールシステムアプローチとは

ホールシステム・アプローチは、組織や分野の境界を越えてできるだけ多くの関係者が集まって自分たちの課題や目指したい未来について話し合う大規模な会話の手法です。最近いろいろな場所で行われているワールド・カフェをはじめとして、OST、AI、フューチャーサーチなどがあります。

:~☆~:~☆~*:~☆~*:~☆~*:~☆~*:~☆~*:~☆~*:~☆~*:~☆~*:~☆~*:~☆~*

>>>FAJ東北スクエアについて

FAJ東北スクエアでは、まちづくり、ビジネス、教育など多様なバックグラウンドを持つ人たちが、「ファシリテーション」というキーワードを介して集まり、相互に学び合う場をつくっています。原則として毎月第2土曜日に仙台市内で「例会」を開催し、ファシリテーションに関する勉強や情報交換をしています。メンバー自身がプログラムの企画・運営を担当し、ファシリテーションの実践にもなっています。会員以外の方も参加可能です。どうぞお気軽にご体験ください。お待ちしております！

●東北スクエアの連絡先：sendai-member@faj.or.jp

●サイト：https://www.faj.or.jp/modules/contents/index.php?content_id=15